

6月定例会

令和5年6月定例会を、6月6日から16日までの11日間の会期で開催し、一般質問は12人の議員が市政を問いました。市が提出した案件は、全9議案で、条例6件、予算2件、その他1件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認しました。



請願

◆請願第1号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

【請願者】
岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長 平野 薫ほか1名
(継続審査)

9月定例会の予定

火	水	木	金	土	日
8/29	30	31	9/1	2	3
本会議(開会)	委員会調査	議員全員協議会	議案調査	休会	休会
4	5	6	7	8	9
一般質問		特別委員会		休会	休会
11	12	13	14		
特別委員会			本会議(閉会)		

予算等審査特別委員会



予算等審査特別委員会(議長を除く16人の議員で構成、委員長佐々木敦緒議員、副委員長菊池浩士議員)は、条例6件、予算2件、その他1件について付託を受け、審査を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑を交わしました。その結果、全議案を原案のとおり可決・承認しました。

保育料無償化 より子育てしやすく

【問】 今回の無償化の内容は。

【答】 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第2子以降3歳未満の子どもの保育料を無償化する。必要な経費は、県と市で2分の1ずつ負担し、4月1日に遡り適用する。対象児童は105人を見込んでいます。

第1子の保育料も無償化するべきでは。

【答】 対象となる第1子の児童は128人。約

物価高騰 緊急支援の拡充へ

【問】 非課税世帯給付金給付事業の内容は。

【答】 住民税非課税世帯に3万円給付する事業。対象世帯は昨年度実施した同様の事業と同じである。

【問】 「世帯全員が課税者の税法上の扶養になっっている世帯」を対象

畜産経営アクション プランモデルの 実践業務の内容は

【問】 業務委託料の内容は。

【答】 優良な雌牛を県外から24頭導入する予定。また、冬場の里山放牧の実証試験に係る予算である。

【問】 地域内で質の良い牛を自家保留した繁殖農家へ、助成支援する考えは。

【答】 優良な血統の雌牛は市外に出さず、地域内で育て、繁殖生産す

に加えている自治体もあるが。

【問】 県内では久慈市が対象に加えている。給付内容や対象者については、自治体の判断に基づいた取り組みが認められており、国との協議の中で検討中である。

【問】 8月中には給付したいと考えているが、事務の進み具合によっては、前倒しで進めたい。

YouTube 配信しています

定例会及び臨時会を YouTube 配信しています。定例会及び臨時会終了後、2週間ほど動画を掲載します。QRコードからアクセス、または YouTube で「遠野市議会」と検索してご覧ください。



QRコードから動画を見るには、スマートフォンのカメラ機能またはQRコードを読み取るアプリを起動し、QRコードを読み取ると動画サイトにアクセスできます。



市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

議会だより72号クイズ応募しましたところ、幸いにも当選とのこと、賞品をいただきました。ありがとうございます。毎回、議会だよりを読ませていただき、市議会が益々身近な存在となってきました。最近の投票率の低下、住民に広がる無関心や期待の薄れを食い止めるためにも「議会だより」は必要不可欠です。広聴広報常任委員の皆様頑張って!! (上郷町、80代)

高齢者で一人ぐらしを頑張っております。議会だよりは興味をもって読んでおります。御苦勞様です。高齢者にやさしい遠野でありますよう応援よろしくお願いします。(宮守町、80代)

紙面が大変読みやすくなったと感じます。議員の皆さんの考え方や遠野市のチャレンジ、今取り組んでいる課題、方向性が良く伝わります。なんか、期待が持てる遠野市になったと思います。(松崎町、60代)



【問】 名を計画している。持続可能な農業基盤の構築に向けて、後継者、新規就農者の確保・育成を図りたい。

【問】 Uターン者も対象となるのか。

【答】 募集要項に示している内容に当てはまれば、採用も可能である。

【問】 任期終了後の移住定着率は。

【答】 これまでの定着率は約60%。さらに上回るように、隊員との個人面談などで課題を共有し、解決に向けてバックアップしたい。

【問】 任期終了後の就業支援も必要では。

【答】 新規就農者育成総合対策事業があり、最長5年間(準備期間2年、経営して3年)、年額約150万円の支援を受けられる。

※地域おこし協力隊

都市地域から地方に移住して、地場産品の開発や農林水産業への従事などを行い、その地域への定住・定着を図る取り組み。

新しい力 地域おこし協力隊

【問】 新たに10名を採用する計画だが。

【答】 山路酪農3名、わさび農家3名、ホップ農家3名、自由提案1



JA 全農いわて中央家畜市場せり会場

【問】 本市での種牛育成を事業化する考えは。

【答】 その時々々の流行があり、今は良くても、販売時点で人気がなく

【問】 優良な血統の雌牛は市外に出さず、地域内で育て、繁殖生産す

【問】 ことが望ましいと考

【答】 えている。次のステップとして、形にして行きたい。

【問】 本市での種牛育成を事業化する考えは。

【答】 その時々々の流行があり、今は良くても、販売時点で人気がなく